

港区台場シャトルバス運行事業候補者募集要項 (プロポーザル方式)

第1 趣旨

「台場シャトルバス運営協議会」が運営を担う台場シャトルバスの2路線（田町ルート：台場地区一田町駅、品川ルート：台場地区一品川駅）の運行事業が平成29年3月31日に終了することに伴い、台場シャトルバス運行事業を新たに開始するため、区では運行事業者を募集します。これに伴い、この要項では、運行事業者の選定に係る事業者の応募方法、選定の基準その他必要な事項を定めるものとします。

第2 業務の内容

- 1 路線バスの運行
- 2 バス停等路線設備の維持管理
- 3 利用案内冊子類の作成と配布
- 4 事業者ホームページでの路線や時刻表・運賃等の情報の開示
- 5 月毎の収入・利用者数の実績表の区への提出
- 6 年度毎の決算報告と運行総括文書・電子データの区への提出
- 7 区内イベントへの参加等による利用PR活動
- 8 インターネットやパソコン等の路線検索機能の制作会社への台場シャトルバス路線情報の掲載依頼
- 9 港区地域公共交通会議への所属

第3 応募資格

応募資格は、平成29年4月1日に運行開始が可能な事業ノウハウを有しており、「一般乗合旅客自動車輸送事業」の許可を有し、もしくは許可の申請を行う予定で平成29年3月31日までに許可を取得できる事業者とします。

第4 応募方法

- 1 区は、応募資格を有する希望者に対して、参加申込書（様式1号）及び企画提案書（自由形式）の提出を求め、別途指定する日にプレゼンテーションを実施します。
- 2 応募する事業者は、応募の締切り日までに参加申込書（様式1号）及び必要添付書類（別表参照）を提出してください。
- 3 応募する事業者は、この募集要項にしたがい、提出期限までに企画提案書、会社概要書（様式2号）、経営計画表（見積書）及び財務報告書（決算書等）を提出してください。（提出部数及び電子データについては別表参照）

第5 応募スケジュール

- | | |
|--------------|----------------------------|
| 1 募集要項等の配布 | 平成28年9月1日（木）～9月15日（木） |
| 2 質問書受付期間 | 平成28年9月1日（木）～9月8日（木）午後5時 |
| 3 質問への回答 | 平成28年9月12日（月）午後5時までに回答 |
| 4 応募の締切り | 平成28年9月15日（木）午後5時 |
| 5 企画提案書の提出期間 | 平成28年9月16日（金）～9月26日（月）午後5時 |

- 6 運行事業候補者選定委員会 平成 28 年 10 月 11 日（火）財務状況審査、書類審査
7 運行事業候補者選定委員会 平成 28 年 10 月 17 日（月）
プレゼンテーション、質疑応答、総合審査
8 運行事業候補者選定 平成 28 年 10 月 17 日（月）以降
なお、プレゼンテーションの時間・場所は、別途応募者に通知します。

第 6 質問書受付及び回答

質問の方法は、質問の要旨を簡潔にまとめ、文書（様式 3 号）にして下記の提出先に持参又はファックス送信してください。ファックスの場合は、送信後、下記へ電話連絡し、到着の有無を必ず確認してください。

これ以外での方法（郵送、電話、口頭等）、または、期間を過ぎたものは受け付けません。

第 7 応募先・提出場所

港区街づくり支援部 土木課 地域交通担当 猪股・阿部

電 話 3 5 7 8 - 2 2 7 8 F A X 3 5 7 8 - 2 3 6 9

※受付時に提出書類の確認をしますので、事前に提出日時の予約をお願いします。

第 8 提出書類の取り扱い

- 1 提出された書類は、事業候補者選定以外に、提出者に無断で使用することはありません。
- 2 提出された書類は、選定作業に必要な範囲において、複製することがあります。
- 3 書類作成に係わる費用は応募者の負担とし、提出された書類は返却しません。

第 9 選定方法

- 1 事業候補者の選定は、応募者より提出された企画提案書、プレゼンテーション及び応募者の財務状況等を踏まえて港区台場シャトルバス運行事業事業候補者選定委員会において、安全・安心で安定したバス運行事業ができるか等を厳正に審査し、選定を行います。
- 2 港区台場シャトルバス運行事業候補者選定委員会は非公開とします。
- 3 選定委員は、「港区台場シャトルバス運行事業候補者選定委員会設置要綱」に基づき、学識経験者、区職員で構成し、委員の職氏名は選定が終了するまでは、公表しません。
- 4 選定結果については、これを応募者に通知します。

第 10 提案内容

企画提案書等では、次の項目について提案を具体的に記載してください。

- 1 運行に対する取り組み
 - ①年度別収支一覧表（バス車両購入費等設備投資も含む）
 - ②運行開始後、赤字が継続した場合の対応
 - ③客満足度向上に向けた取り組み
 - ④東京 2020 オリンピック・パラリンピック 競技大会に向けた国際化への取り組み
- 2 計画実現化への取り組み
 - ①運行に向けた工程管理
 - ②料金收受システム（IC カード対応の可否も記載）

- ③運行管理
- ④操車能力（車庫の所在地及び車両の形式と台数を具体的に記載）
- ⑤安全運行、安定運行への取り組み
- ⑥利用促進への取り組み
- 3 緊急時への対応
 - ①交通事故や車内事故・事件への対応
 - ②災害発生時の対応
 - ③怪我人・急病人の対応、AEDの車内設置への取り組み
 - ④繁忙期やイベント実施時期の弾力的な運行の取り組み
- 4 バリアフリーや社員教育の取り組み
 - ①バリアフリー化への取り組み
 - ②乗務員教育
 - ③乗務員休憩所の確保
 - ④苦情への対応
- 5 事業採算性向上に向けた取り組み
 - ①住民、ビジネス業務の客、レジャーや観光客等、多様な乗客を取り込む方策
 - ②運賃収入以外の収入を確保する取り組み
 - ③その他の提案
- 6 運行改善への取り組み

平成29年4月1日以降のダイヤ改正、運行経路の変更等の提案を具体的に記載
- 7 事業収支報告について

運行経費の内訳、その検証方法
- 8 環境配慮等への取り組み

環境配慮方針

第11 提案条件

企画提案書等を作成するにあたっては、以下の条件を満たす内容としてください。
また提案書には以下の条件を満たしていることが分かるように記載してください。

- 1 運行期間
 - ①平成29年4月1日に運行開始することを条件とし、それまでに路線バスとしての許認可手続等の準備が間に合う計画であること
 - ②運行期間は、平成29年度から平成33年度までの5年間は最低限行うものとし、以降5年毎に見直しを行うものとする
 - ③運行開始までの工程及び運行開始以降の運行改善等の計画を工程表により記載すること
- 2 路線とダイヤ
 - ①平成29年4月1日の運行開始時点では、現行の路線とダイヤをそのまま引き継ぐこと。ただし手続が間に合う場合は増便もあり得るものとする
 - ②運行開始以降の路線変更・ダイヤ改正等の運行改善とその方法を提案すること
 - ③計画している路線変更やダイヤ改正は、路線図や便数・時刻表などによりできるだけ具体的に記載すること
 - ④実際の路線変更やダイヤ改正は、区と事前協議のうえで港区地域公共交通会議の議決によって行うこと
 - ⑤沿線でのイベント開催などにより通常の輸送力を大幅に超えることが予想されると

きは、続行便の運行や予備車・代車を活用した複数台運用も行える計画であること

3 車両

- ①車両は前後に扉のある路線バスタイプとし、最低でも中型車以上の規模とする
- ②現在台場シャトルバスに使用している2012年式日野レインボー中型車3台と同2013年式1台（いずれもMT車）を引き続き使用することができる
- ③車両数と内訳を明記すること
- ④全車にドライブレコーダーを備え付けること
- ⑤車椅子での乗車と車内での固定、ベビーカーでの乗車を可能とすること
- ⑥新規購入車両はノンステップ対応車両とすること

4 車内案内と放送

- ①車内での案内は最低、日本語、英語、韓国語、中国語により行うこと
- ②車内放送は最低限日本語と英語により行うこと
- ③車内モニタを活用した案内も行うこと
- ④その他多言語による案内等の提案があれば記載すること

5 運賃と乗車券

- ①普通運賃は当面210円（税込）とすること
- ②定期券は現在発売されている内容を引き継ぐ
- ③ICカードが導入できるかどうかを提案書に明記すること
- ④ICカードが導入できない場合は、現行と同一条件の回数券を発売すること
- ⑤「ちいばす」との共通1日乗車券（500円）は引き続き発売すること
- ⑥港区コミュニティバス乗車券は引き続き利用可能とすること（乗車人数を別途カウントし、区に報告することで運賃相当分を区が負担するものとします。）

6 経営計画

- ①記載する期間は平成29年度から平成33年度までの5年間とすること
- ②年度毎の収入、支出を項目別に記載し、年度毎の収支が経年的に分かるように記載すること
- ③運行経費、車両購入費など区からの補助を必要とする場合は、内訳と金額を年度別に明記すること
- ④事業者内において別事業が併存する場合、経営計画の記載は本事業にのみ切り離れた独自のものとし、事務所の維持管理経費や他事業と兼務する従業員の人件費等、切り離しが難しい経費については按分するなどして計上すること
- ⑤営業収益を上げるために広告費等を徴収することは可能とすること

7 補助金

- ①区からの補助金額は、5年間合計で、運行経費は1億円、車両購入経費は7千5百万円を上限とする。
- ②補助金額は単年度毎に、事業者からの申請に基づき予算化するものとする。
- ③補助金の支出は最大5年間とするが、経営努力によって早期に黒字となるよう努めること

8 黒字となった年度以降の取り扱いについて

- ①収支が黒字になった年度をもって補助金の支出を行わず、自主運行として扱う
- ②自主運行になった年度以降も、年度毎に運行実績の報告を区へ提出すること
- ③ダイヤ改正や路線変更を行う場合は、区との事前協議及び港区地域公共交通会議の議決を必要とする

9 その他

- ①事故が起きたときは迅速な対応に努めること
- ②この事業は区からの許可があった場合を除き、第三者に再委託してはならない

第12 業務実施上の条件

1 職員

- ①職員の採用選定及び勤務条件等について関係法令を遵守すること
- ②公共交通機関としての心構えを認識し、従事職員教育、接遇教育等を徹底し、利用者及び区民への接遇等が常に良好となるよう努めること

2 安全・安心に関する責務

- ①災害や事故の発生などの緊急時において「緊急対応マニュアル」を作成し、利用者等の避難誘導、関係機関への通報、傷病者の医療機関への搬送の付き添い、安全確保、通報・連絡等の迅速かつ的確な対応を行うこと
- ②休日・夜間の連絡体制を確立すること
- ③安全管理体制の整備、日常安全点検等を実施すること
- ④災害時は区の指示に基づき区民の安全確保のため協力すること
- ⑤管理する個人情報の保護をはじめ情報セキュリティについては、本業務に従事するすべての者が「港区情報安全対策指針」を遵守し、漏えいの防止等の適正な管理に努めること

第13 関係法令の遵守

下記の関係法令等を遵守してください。

- ・ 地方自治法
- ・ 労働関係法（労働基準法、最低賃金法、労働安全衛生法等）
- ・ 港区個人情報保護条例及び施行規則
- ・ 港区情報公開条例及び施行規則
- ・ 港区環境基本条例
- ・ 港区廃棄物の処理及び再利用に関する条例及び施行規則
- ・ 港区防災対策基本条例
- ・ 港区暴力団排除条例
- ・ 障害者差別解消法
- ・ 道路法
- ・ 道路交通法
- ・ 道路運送法
- ・ 東京都火災予防条例
- ・ 東京都建築安全条例
- ・ その他施設の管理運營業務及び各種事業実施に関わる各種法令・条例等

第14 提出書類に関する留意事項

- 1 提案書類提出後の内容変更は、提出締切日まで受け付けます。
- 2 上記のほか、区が必要とする書類の提出を求めることや、ヒアリングを実施する場合があります。
- 3 提案書類等の著作権は作成した団体に帰属します。ただし、提出された提案書類は返却できません。区の責任において一定期間保管後、廃棄します。
- 4 副本については、法人名など応募事業者が特定できる部分を削除、又はマスキン

- グ（黒塗り）のうえ、受付番号を記載のうえ、提出してください。
- 5 区は、選考結果及び提案内容等を公表する場合、その他区が必要と認めるときは、無償で提出書類の全部又は一部を使用できるものとします。ただし、公開することにより応募者に明らかに不利益を与えると認められる書類については公表しません。
 - 6 提出書類に虚偽の記載があった場合は、失格とします。

第15 応募に関する留意事項

1 選定委員会委員等との接触について

公募要項の公表日以降、プレゼンテーション等区が提供する機会を除き本件提案に関して、選定委員、区職員等への接触は禁止します。接触の事実が認められた場合は、失格となる場合があります。

2 応募の辞退について

提案書類を提出した後、辞退する場合は、辞退届（様式自由）を提出してください。

3 費用の負担について

提案や指定後の協議に対しての参加報酬・交通費及び受託のための準備等に係る経費は、応募者の負担とします。

別表 必要添付書類

NO	提出資料	様式及び収録媒体	提出部数		
			紙		電子
			正本	副本	
参加申込時					
1	「港区台場シャトルバス運行事業」参加申込書	様式1号	1部	—	不要
2	「一般乗合旅客自動車輸送事業」の許可証の写し	様式1号の添付書類	1部	—	不要
提案関係書類					
3	提案書本文・参考資料	A4判・自由形式	1部	7部	ディスク1枚
4	経営計画表（見積書）	自由形式	1部	7部	ディスク1枚
5	会社概要書	様式2	1部	8部	ディスク1枚
6	法人の登記事項証明書（全部事項証明書）※申請日前3か月以内発行	様式2	1部	8部	不要
7	貸借対照表（直近3年分）	自由形式	1部	8部	ディスク1枚
8	損益計算書（直近3年分）	自由形式	1部	8部	ディスク1枚